

2023年度  
日本骨髄バンク

# コーディネーター

養成研修生

# 募集



JMDFP

## 想像力が、いのちを救う

白血病など重い血液の病気と診断される人は、年間およそ1万人。どんなに医療が進歩しても、移植でしか治癒が望めない患者さんはまだまだ多く、年間2,000人以上の方が骨髄バンクを通しての移植を望んでいます。

コーディネーターは、そうした患者さんに、ドナーさんの善意を届ける橋渡し役です。

第22回(2023年度)

(公財)日本骨髓バンク

# コーディネーター 募集要項

日本骨髓バンクでは、コーディネーター養成研修会受講者を募集します

コーディネーター養成研修会は、業務に必要なコミュニケーションスキルと知識を身に付けていただくための研修会です。

受講後、日本骨髓バンクコーディネーターの認定を受けて、当法人からの委嘱に基づき活動していただけます。社会貢献の機会として、奮ってご応募ください。

## 応募締め切り

2023年7月15日(土) 投函分まで

## 研修期間(予定)

2023年7月下旬～2023年12月

## 研修内容

各地区での集合研修(6～8回)、近隣の指定病院での実地研修(10回程度) 中間試験、修了試験有  
一部リモート研修

## 募集地域(活動エリア/各地区若干名)

中部地区(三重・富山・石川・福井・愛知・岐阜・静岡)  
近畿地区(和歌山)  
中四国地区(高知)  
九州地区(北九州・佐賀・宮崎・大分)

## 応募方法

①履歴書(写真貼付)②職務経歴書③受講動機(400字原稿用紙1枚)①～③を添えて下記まで郵送で申し込みください。  
応募書類返却不可。

※応募に関する個人情報、選考手続きおよび今後の研修のためにのみ使用し、その他の目的で使用することはありません。

## 応募先 / 問合せ先

〒101-0054  
東京都千代田区神田錦町3-19 廣瀬第2ビル7階  
(公財)日本骨髓バンク「コーディネーター養成研修会」係  
電話:03-5280-2200(平日9:00～17:30)

※メールでのお問合せはご遠慮ください。

URL: <https://www.jmdp.or.jp/>



## 応募資格

- ・原則25歳以上の健康な方
- ・骨髓バンク事業を理解し、熱意を持ってコーディネート業務に時間と労力を割ける方
- ※ただし骨髓バンクに患者として登録中の方とその家族、特定の患者の支援活動をしている方は応募できません。
- ・スマートフォンやタブレット端末の操作ができる方

## 受講料(教材費含)

無料、交通費は当法人負担

## 選考・結果通知

書類選考後、電話面談の上、受講の可否をお知らせします。(郵送または電話)

## 業務内容

- ①ドナーと医師などの関係者間の連絡調整
  - ②ドナーやご家族に対して造血幹細胞移植に関する説明や提供意思の確認
  - ③造血幹細胞提供後のドナーの健康状態の把握
- 在宅および指定病院での業務となります。

## 待遇

- ・(公財)日本骨髓バンクからの委嘱
- ・報酬は活動件数に応じて支給:  
面談(調整を含む)1件当り約8千円程度  
※活動件数:月数件～十数件程度  
(地域の状況により変動)交通費実費支給
- ・社会保険なし
- ・業務用スマートフォン、iPad貸与
- ・兼業は、コーディネート活動を優先でき、職場の理解が得られる場合のみ可(応相談)

## 骨髄バンクとは？

### 生きるチャンスを善意によって広げてゆく

善意の提供希望者(ドナー)から提供していただいた健康な造血幹細胞の移植によって、白血病などの血液の病気で治療が困難な患者さんの命を広く、そして公平に救うこと。

それが骨髄バンクの基本理念です。

骨髄バンクは、白血病をはじめとする血液疾患のため「非血縁者間骨髄・末梢血幹細胞移植」が必要な患者さんと、それを提供するドナーを繋ぐ公的事業です。1991年の設立から多くの方々の善意に支えられ、2022年5月現在、骨髄バンクを介した非血縁者間の移植数は、2万6千件を超えています。

## コーディネーターとは？

### 適切なコーディネートを行い、ドナーの善意を患者さんにつなぐ

造血幹細胞移植のためには、それを必要とする患者さんと、提供を希望する方(ドナー)との連絡調整=コーディネートを適切に行うことが必要です。

コーディネーターはその役目を担います。

<具体的な業務>

- ①ドナーと医師などの関係者間の連絡調整
- ②ドナーやご家族に対して造血幹細胞移植に関する説明や提供意思の確認
- ③造血幹細胞提供後のドナーの健康状態の把握

※ 在宅および指定病院での業務です。

コーディネーター養成研修会は、コーディネートに必要なコミュニケーションスキルと知識を身に着けていただくための研修会です。

受講後、日本骨髄バンクコーディネーターの認定を受けて、当法人からの委嘱に基づき活動していただきます。

## コーディネーター体験談



提供はドナーの方の自由意思ですが、コーディネーターには、しっかり考えていただくための材料を提示する説明力と、無理なく提供できるかどうか、ドナーの状況を把握し背景を理解する力が求められます。

コロナ禍でも骨髄バンクのコーディネートは通常どおり行っています。ドナーの方にも負担のある状況ですが、多くのドナーの方は自分のこと以上に患者さんを気遣い、感染対策に気を配るなど努力してくださっています。そうしたドナーさんの姿に、日々、感動をいただいています。大変なこともありますが、その経験が必ず次に生きてくる、自分の成長を実感できる仕事でもあります。

## ドナーさんからコーディネーターへのメッセージ

不安なことや不明点、何気ないこと…  
たくさん質問しましたが、適切にこたえて  
いただき気持ちも落ち着きました。



親切で気さくな方で、お会いすることがで  
きて本当に良かったと感じています。



かつてこれほど誰かから気遣ってもらった  
ことがあったかと思うほど、親身になって  
もらいました。無事に採取が済み、もう会え  
ないと思うと寂しくなってしまったほどで  
す。



何ごとにも丁寧に対応してくれて、最善を  
尽くす姿に信頼することができました。



私の気持ちや体調を第一に考えてくださっ  
ていると感じました。



非常にこまやかなお心遣いをいただき、  
安心して提供することができました。  
感謝の気持ちでいっぱいです。



## 患者さんの感謝の声



Mさん 再生不良性貧血で骨髄移植を経験

『家族や友人、学校生活から切り離され、先が見えない孤独な入院生活の中で、主治医の先生や担当の看護師さんが笑わせてくれたり、同室の友だちから多くの元気をもらいました。その当時は思ってもいませんでしたが、今はお世話になった病院で看護師として勤務しています。

当時、自分は不幸だと思い込んで、ふさぎ込んでいました。しかし病気を通して、たくさんの方の優しさで見知らぬ誰かの親切で命がつながっており、幸せに恵まれていたことに気づかされました。それは「次は誰かの力になりたい」という気持ちの芽生えとなり、私の人生を変えました。

日本赤十字社の献血からの輸血計24回、そして骨髄バンクのドナーさんからの骨髄提供によって、私は今生きています。名前も顔もわからない親切な皆さまに、この場を借りて感謝いたします。そしてどうかこれからも、その優しさで多くの人々の命をつないでいただきたいです。』